



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第15号

平成17年 6月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



▲勤続10年功勞表彰（102名が表彰される）



開院十周年にあたって

病院長 長田 敦夫

（財）長野市保健医療公社長
野市民病院は、一九九五年（平成七年）六月一日の開院以来、職員の増員と増床を重ね現在二十一診療科、三百床となり、訪問看護ステーションも併設しここに満十年を迎えました。

この間市民、ボランティアを始め多くの関係者の皆様に支えられ、育まれ、まだまだ不十分ですが一定の役割を果たしてまいりました。民間感覚を取り入れ全国に先駆け公設民営方式を採用し、質の高い医療の提供と患者サービスに徹する一方、病院事業会計の収支均衡を図り、市民の税金投入をなるべく少なくするよう経営努力もしてまいりました。

診療方針としては、患者様本位の医療、すなわち説明と同意（インフォームド・コンセント）、医療情報の開示、個人情報保護の保護、安全対策等に配慮し、生活習慣病を主体とした高度専門医療、高齢者医療、救急医療等に今後もさらに力を入れていきます。現在市民の皆様の要望が強い救急医療に関しましては、慢性的な病床不足を解消し、独立した救急専門部門を新たに設けるため、百床の増床事業に着手していますので、ご期待ください。

この十周年を機に、私も職員一同病院設立時の原点に返り、公社及び市民病院の設立目的、その後策定した病院の理念、患者さまの権利等を踏まえ、地域に開かれた人間味溢れる温かい病院を今後も目指すことを誓いたいと思います。

長野市民病院10年のあゆみ

昭和51年	市制80周年記念事業の選定において、市民総合病院の建設を決定
昭和52年	「長野市医療施設整備協議会」設置
昭和54年	「市民病院建設基金条例」制定
昭和60年	「長野市医療施設調査研究委員会」設置
昭和62年	「長野市公的医療施設建設審議会」設置
平成2年	「長野市公的医療施設基本構想検討委員会」設置
平成3年	「長野市民病院」開設許可 「財団法人長野市保健医療公社」設立
平成4年	基本・実施設計決定 「長野市病院事業の設置等に関する条例」制定 長野市民病院建設工事着手
平成7年	長野市民病院建設工事竣工（1月） 6診療科・150床で開院（6月1日）
平成8年	11診療科・254床
平成8年	訪問看護ステーション開設（8月）
平成9年	16診療科・300床
平成10年	19診療科
平成12年	外来・手術部門等増改築工事竣工（3月） 20診療科
平成13年	塚田理事長退任・鷺澤理事長就任（12月）
平成14年	古田病院長退任（3月）
平成14年	長田病院長就任（4月）古田名誉院長就任（4月）
平成15年	CT・MR棟等増改築工事竣工（3月） 「長野市民病院充実検討委員会」設置 21診療科 （財）「日本医療機能評価機構」 病院機能評価認定（10月） 臨床研修病院指定（10月） 100床増床許可（10月31日）
平成17年	市民健康講座開催（1月）



▲病院建設工事



▲病院開設当時



▲びんずるで盛り上がる



▲5周年記念行事



▲平成16年 臨床研修制度スタート



▲CT・MR棟工事

長野市民病院の中期運営目標

今月一日に開院十周年を迎えた長野市民病院ですが、安全かつ良質で、患者本位の医療サービスのさらなる充実を目指し、今後五カ年は次のような目標を設定し実践してまいります。

【病院増改築事業の推進】

地域住民の代表や医療関係者からなる「長野市民病院充実検討委員会（塚田俊之委員長）」の最終答申を踏まえ、百床の増床や初期救急医療に対応した救急専門部署の設置並びに救急病床の確保等に取り組んでまいります。

【医療の質的向上】

医療制度改革の一環であるDPC制度（医療費包括払い制度）の導入に対しては適切に対応してまいります。また、クリニカルパス（疾病別治療工程管理）の適用拡大等を通して、医療水準の向上を図ってまいります。

【経営の健全化】

開院以来十年間の病院運営の総点検を行い、診療機能の充実とともに経営の健全化を図るため、院内に「経営改善委員会」を設置し、病院一丸となつて取り組んでまいります。

【地域医療連携の推進】

地域医療機関との機能分担に配慮し、地域全体としての適切な医療を行うため、開放型病院制度の有効活用や紹介・逆紹介の一層の推進等により関係機関との連携を密にしていきたいと思います。

中期運営目標

1. 病院増改築事業の推進

- (1) 100床の増床稼働
- (2) がん等生活習慣病を主体とした高度専門医療のさらなる充実
- (3) ER型24時間救急体制の確立と長野市急病センターの併設
- (4) 総合的リハビリテーション医療及び緩和ケアサービスの提供

2. 医療の質的向上

- (1) DPC制度への対応
- (2) 診療録の整備（退院サマリー、病名登録、ICDコーディングの徹底）
- (3) 臨床評価指標の導入
- (4) クリニカルパスの適用拡大
- (5) 病院機能評価の認定更新（平成20年度）

3. 経営の健全化

- (1) 経営改善委員会の活性化
- (2) 平均在院日数の一層の短縮（14日以内の達成）
- (3) 部門別原価計算等による収支分析の実施
- (4) 材料費節減と委託業務の見直し
- (5) 人事考課制度の導入

4. 地域医療連携の推進

- (1) 紹介、逆紹介制度のさらなる推進
- (2) がん登録の推進
- (3) セミオープンシステムによる開放病床、医療機器共同利用の活性化
- (4) 市民健康講座、看護師出前講座等の定期的な開催



▲こんな所にも改善の意欲が

経営改善委員会の設置

DPC制度（医療費包括払い制度）導入に代表される医療制度改革や増改築事業の投資負担等を乗り越え、地域の中核病院として、救急医療の充実を図り、将来にわたって急性期高度医療を提供していくためには、病院経営の健全化が必須であること。また、病院機能評価では、職員の経営改善意識の欠如や病院全体での積極的な改善努力の必要性等について指摘を受けたこと。などの理由から、平成十七年四月に院内に長野市民病院院長を委員長とする「経営改善委員会」を設置しました。

この委員会には、下部組織として改善テーマ別に五つのタスクフォース（特命チーム）が編成されており、委員会に対し半年を目途に、それぞれのテーマにおける経営改善策の提言を行うべく、活発な議論が繰り返されています。

（五つのタスクフォース）

- 一、DPC制度導入検討・クリニカルパス
- 二、平均在院日数短縮
- 三、地域医療
- 四、人事労務・職員定数算定
- 五、経費節減・委託業務の見直し



入院を要する患者様の栄養状態を調べてみると良好でないことがよくみられます。栄養状態が悪いと疾患を悪化させ、合併症のリスクを高め、治療の効果を低下させてしまうため、適切な栄養療法が必要となります。

栄養療法とNST (栄養サポートチーム)

外科科長 関 仁 誌

栄養療法は経口栄養、経静脈栄養、経管栄養に分類されます。経口的な栄養摂取は最も生理的で望ましい方法ですが、何らかの疾患のため経口的な摂取ができない場合は、経静脈栄養、経管栄養が適応となります。経静脈栄養には手や足などの末梢血管を用いる末梢静脈栄養と中心静脈栄養の二つの方法があります。二週間程度の短期間であれば末梢静脈栄養で栄養状態を維持できますが、それ以上になると中心静脈栄養が必要となります。中心静脈栄養法とは太い静脈より挿入したカテーテルから各栄養素がバランスよく配合された静脈栄養剤を投与するもので、主に

消化器の疾患や手術前後によく用いられる有効な方法です。カテーテル挿入に伴う合併症や感染性、代謝性合併症を引き起こすことがあるので慎重な操作や管理を要します。食物の嚥下が困難な場合などは経鼻カテーテルや胃ろう、腸ろうから経管的に経腸栄養剤を注入します。経管栄養法は比較的合併症は少なく、その上腸管の萎縮を予防し腸管免疫機能を活発にするため、感染に対する抵抗力を高める効果も証明されていることから、その適応は広がりつつあります。栄養療法はすべての疾患の治療

療に共通する基本的な医療のひとつで、その重要性がさらに認識されるようになりました。NSTとは医師、看護師、栄養師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、リハビリテーション科などの医療スタッフで構成され、患者様に対し適切な栄養管理、栄養療法を行うチームのことです。ここ数年、日本でもNSTを導入する医療機関が増えており、当院でも昨年一月よりNSTを発足させました。より効果的で安全な医療を提供するために今後も活動をすすめていきたいと考えております。

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

ナ イロン袋の使用があまりに多いことが気になります。患者一人一人のゴミ箱はゴミだけ捨て、毎日交換しなくても良いと思います。僅か一握りのゴミでも袋ごと捨てることに抵抗を感じます。

(入院患者、女性)

回答

貴重なご提案をいただきありがとうございます。ご指摘の件につきましては、わずかなゴミでもビニール袋に汚れなどが付着しておりますと、感染や臭いの元になる可能性があります。また清掃員はお部屋の掃

除をするため、直接ゴミに手を触れないよう、少量のゴミでもビニール袋ごと交換させていただいております。ご指摘のとおり無駄に見えることも確かではありますが、以上のことからご理解いただきますようお願いいたします。

私 の知り合いが傘を盗まれてしまいました。傘立てには鍵がついてないので、盗まれても当然です。鍵の設置をお願いします。

(外来患者、女性)

回答

傘を紛失されてしまったとのことと心よりお見舞い申し上げます。またこのたびは貴重なご意見ありがとうございます。傘立ての鍵の設置につきましては、一日に何百人という患者さまが来院されるため、現在、それに対応できるだけのスペース確保は難しい状況です。入口に傘袋をご用意しておりますので、それをご利用いただき、傘を携帯していただきますようお願いいたします。

せ

つかくの市民病院なので、市立図書館の分室のように、院内文庫をつくってほしいです。ラウンジの片隅でもいいですが、そこで読めたり部屋に貸し出して読めたり

長野マラソン

～完走までの道のり～

五階東病棟看護師 豊森 郁恵



二十五歳の記念としての挑戦でしたが、完走できたのは応援と水とバナナのおかげです。沿道の人達の声援に笑顔で手を振り、『ファイトー』と声を出して走り、疲れた時は握手を求め、みんなでゴールしようと団結力も生まれ、感動の連続でした。辛い時がきても、それに気付けば楽になり、気持ちいいと感じられる、何とおもしろいスポーツなので、走りたいと思うている貴方、いつでも声をかけてください。応援して頂いた皆様に感謝の気持ちをこめて、「あした元気になあれ」

病院ボランティアはづきの会



新会長 浅川 迪子

元気の秘策として

花の季節から深緑へと自然は移ろい、初夏の装いを感じる頃となりました。

平成十七年度はづきの会の会長をお受け致しまして二ヶ月余り、身の引き締まる思いで過して参りました。微力の上未熟者でございますが一生懸命勤めさせて頂く所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。市民病院も十周年を迎えられまして誠にめでたうございませう。

医療の進歩は目覚ましいものがございます。いまして、その最先端の現場で昼夜患者様をお守り下さる先生方はじめスタッフの皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。寄る年波の高齢化に伴いまして私達自身も今その立場にあります。年齢には係わりなく元気に過ごす秘策と考え、目立たなくいいから忠実に、日々の積み重ねを大切にはづきの会の活動に傾注して参りたいと思っております。

今後共はづきの会の活動にご理解

ボランティア はづきの会の活動内容



- 1 外来サービス
 - 2 草取りグループ
 - 3 患者サービス
 - 4 シーツ交換
 - 5 衛生材料作り
 - 6 花壇の手入れ
 - 7 プランターの管理
 - 8 生花の飾りつけ
 - 9 折紙グループ
 - 10 編集部
- 外来の案内など
4月から12月の毎月10日は午前6時より25日は午後4時より院外の草取り
入院患者様への働きかけ。第2第4木曜日第1第3水曜日
リフォーム活動など
草取り作業に合わせて草花の植えつけ、施肥、水やりなど
草花の植えつけ、施肥。水やりは毎朝開院前。総杯数176杯
毎月1回5階ラウンジにて講習会を行う。
7月22日には院内に七夕の飾りつけ、
12月2日にはエントランスホールにクリスマスツリーの飾りつけをします。
会報はづきの発行等

を頂きまして、地域に開かれた病院として市民病院が益々発展されます事を祈念申し上げます。簡単ですが挨拶と致します。

できると嬉しいですよ。

◆回答

貴重なご意見ありがとうございます。

現状ではスペース等の関係上、設置が難しい状況ですが、増築時には1階に患者様用の図書、情報サービス室を設け、新聞の他、インターネットの利用等もできるサービスを検討しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

リハビリテーション室の土曜・日曜の一部開放・使用ができるようお願いいたします。継続してリハビリを行う必要性を痛感しています。

（入院患者、男性）

◆回答

ご要望とリハビリの重要性についての声をいただきありがとうございます。休診日にリハビリ室を開放するには、安全管理上、職員の配置が必要となりますが、現状のスタッフ数・勤務体制では、配置が難しいのが実態です。なお、休診日にリハビリテーション科の治療を実施してほしいとのご要望は以前からいただいておりますので、今後、検討していきたいと思っております。

登

録

医

紹

介

No. 3

登録医制度による地域医療連携システムが平成十五年四月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。

なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、順次登録医の医師を紹介してまいります。



原山先生は長野市内のご出身であり昭和54年に大学を卒業後、下諏訪にある信濃医療福祉センターを始めとして、JA厚生連北信総合病院、県立須坂病院に勤務された後、平成5年に現在地に開業され12年になります。

診療科は小児科ですが、先生自身が地域密着型のかかりつけ医という自負をお持ちであり、また地域住民の方の先生に対する信頼も厚いため、患者さまの年齢層も幅広く、子供からお年寄りまで診療されています。

先生は、患者さまの話にできるだけ耳を傾け気軽に対話できるように心掛け、診療に際しては、薬等に対する比重をなるべく最小限に留め、日々診療に努めているとのこと。

また、先生は非常に多趣味であり、特にスカッシュは週に1・2回は市内のスポーツクラブに通う程熱中しています。また、夏には海釣りやキャンプ、冬にはスキーとアウトドアを満喫することでストレス解消につながっているそうです。

医師になって良かったことは、病気で来た子供さんが回復して元気な姿を見せてくれることが何よりも励みになるそうです。そんな子供好きな先生を象徴するように診察室には子供さんから送られた先生の絵が多く飾ってありました。

新研修医の抱負



(中嶋 博幸)

最初の一年間の研修を信州大学で終え、今年一年間

長野市民病院で研修をさせていただきましたことになりました。二年目ではありますが、まだまだ知識・技術とも未熟で自分の力のなさを実感させられる毎日です。指導医の先生方やスタッフの方々に温かくご指導をいただき、日々研修に励んでいます。また、知識と技術だけではなく、一人一人の患者様と真剣に向き合い、信頼される医師となれるように努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



(諸岡 諭)

臨床研修医二年目の諸岡と申します。昨年度は信州大

学にて内科、外科を中心に研修しておりました。

こちらに来て一ヶ月、多くの先生方やコメディカルの方の温かい指導により、充実した研修生活を送らせていただいています。自分の力不足を思い知る場面も数多くあり、努力の必要性を感じております。

研修二年目はほとんどの科が一ヶ月ローテーションであり、長野赤十



(彦坂 吉興)

字病院など他病院での研修もあるため、環境の変化が大きく、少々不安をおぼえます。しかし多くの科をまわること、様々なことを学び、吸収できるよう励んでいきたいと思っています。

二年間、長野市民病院で研修させていただきます。

坂吉興です。現在は指導医の先生とともに呼吸器科の患者様を担当させていただいています。大学で六年間学んだ知識と実際の医療の現場で求められていることとの大きな差に戸惑う毎日です。しかし指導医の先生方や看護師、コメディカルの方々に親切に教えていただき新しい事を学べる喜びのある毎日を過ごしています。また担当させていただいている患者様の喜ばれる姿を見ることが大きな喜びであると感じております。医師としての知識、技術とともに人として大きく成長できる二年間にしたいと思って日々学んでいきたいと思っていますのでこれからもよろしくお願いします。



(村石 懐)

今年度より市民病院で研修させていただきます。頂きます村石と申します。現在は主に内科の患者様を

指導医とともに担当させて頂いてお
ります。研修を始め早くも約一ヶ月
が経ちましたが、日々の診療の中で
患者様の簡単なご質問にお答えでき
ない場面なども多く、自らの力不足
を痛感しながら毎日を過ごしており
ます。しかしながら、研修医といえ
ども患者様から見ればひとりの医師
である事に代わりはありませんの
で、その責任の重さをしっかりと感
じながら、一日も早く一人前の医師
として患者様のお役に立てる様努力
していきたいと考えております。



(細川 亜耶)
一年間長野市民
病院で研修させて
いただきます。研

修を始めて二ヶ月、指導医の先生方
をはじめ多くの方にご指導いただい
ておりますが、自分の力不足を実感
する毎日です。患者様にもご迷惑を
おかけすることが多々ありますが、
あたたかい言葉をかけてくださり、
大きな励みになっております。この
一年間で出来るだけ多くのことを身
に付けられるよう一日一日を大切に
していきたいと思えます。よろしく
お願いします。



(矢崎 健彦)
信州大学とのた
すき掛けで、一年
間長野市民病院で

臨床研修させて頂いたいただきます信州大
学出身の矢崎健彦と申します。臨床
実習を開始して約一ヶ月が経ちまし
た。未だに自分の力が足りないこと
を痛感する毎日ですが、指導医の先
生方をはじめとするスタッフの方々
から熱心な御指導を頂くとともに、
患者様から数多くのことを学ばせて

第一回 クリニカルパス大会

クリニカルパス委員会
委員長 西澤 秀 治

クリニカルパスとは、入院中
の治療・検査・
ケアの標準的な
スケジュールを
ご説明した経過
表です。これは
「入院診療計画
書」になるもので、分かりやす
くイラストなどを使って作成し
た一覧表です。患者さまと医療
スタッフがクリニカルパスを共
有して、お互いに協力をして治
療を効果的に行うものです。

現在、当院では七十八種類
(患者さま用、医療者用含める)の
クリニカルパスを開発し運用
しております。この度、電子パ
ス(六種類)の導入(平成十六
年八月)にともない、平成十七
年三月三十日(水)に当院で初
めてクリニカルパス大会を開催
しました。記念すべき第一回の
大会に多くの職員(百九名)が
参集し、電子パスとして軌道に

頂いております。
患者様から必要とされる医師にな
るために、自分に欠けているものは
何であるかを常に考え、一つでも多
くのを吸収出来るよう日々精進
していきたいと思います。今後とも
よろしくお願い致します。

乗っている、TURP(経尿
道的前立腺切除術)、ラパコレ
(腹腔鏡下胆嚢摘出術)の二つの
パス使用の現況が報告されまし
た。さらにパスの有効活用、医
療の質の向上および業務改善に
ついて活発に議論されました。

医療技術が日進月歩で変化し
ていくのにもない、クリニカル
パスも絶えず進化していくも
のと考えております。医療スタ
ッフ全員が治療・検査・ケアの
過程において、患者さま・ご家
族の方に満足していただけるよ
う、目標にむかって日々医療を
行っています。



▲第一回クリニカルパス
大会の様子

ごみゼロ運動に ボランティア・職員が汗流す

五月三十日は、ごみゼロの日。長
野市民病院でも院内の駐車場、緑
地、周辺道路などのごみ、空き缶拾
いや草取りを実施しました。

日頃から病院ボランティア「はづ
きの会」の皆さまには、定期的にこ
れらの作業を実施していただいてお
ります。当日は、医師、看護師な
ど病院職員も一体となって行われま
した。



外来診療担当日一覧

長野市民病院

	月	火	水	木	金	備 考	専 門
内 科 (消化器科) (循環器科) (呼吸器科) (神経内科)	○岡本 尚子 ○吉池 文明 ○今井 康晴 立岩 伸之 花岡 健 武田龍太郎	山本 寛二 吉池 文明 ○吾妻 俊彦 ○今井 康晴 ○丸山 隆久 ○岡本 尚子 掛川 哲司	○吾妻 俊彦 長田 敦夫 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○花岡 健 掛川 哲司	山本 寛二 吉池 文明 吾妻 俊彦 ○立岩 伸之 丸山 隆久 — ○掛川 哲司	○山本 寛二 — ○平井 一也 今井 康晴 長谷部 修 花岡 健 ○武田龍太郎	○印は初診担当です	長田 敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井 一也 (呼吸器) 今井 康晴 (消化器・肝臓) 長谷部 修 (消化器・内視鏡) 丸山 隆久 (循環器) 山本 寛二 (神経内科) 花岡 健 (循環器) 掛川 哲司 (腎臓) 吉池 文明 (呼吸器) 立岩 伸之 (消化器・内視鏡) 武田 龍太郎 (消化器) 吾妻 俊彦 (呼吸器) 岡本 尚子 (内科)
小 児 科	○青沼架佐 田村 秋穂 信大医師	田村 秋穂 青沼架佐 田村 秋穂	青沼架佐 田村 秋穂 田村 秋穂	田村 秋穂 ○青沼架佐 田村 秋穂	青沼架佐 田村 秋穂 田村 秋穂	○印はカウンセリング (要予約)です。 午前10時以降	青沼架佐 (発達・神経・循環器・心身症) 田村 秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来	免疫アレルギー・腎臓 小児心療内科外来	免疫アレルギー・腎臓 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来		
外 科 (呼吸器外科)	渡邊 隆之 宗像 康博 砥石 政幸	宮川 雄輔 関 仁誌 西村 秀紀	酒井 宏司 宗像 康博 砥石 政幸	— 宮川 雄輔 西村 秀紀	酒井 宏司 関 仁誌 —		宗像 康博 (消化器・胃大腸) 西村 秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 宮川 雄輔 (肝胆臓) 砥石 政幸 (呼吸器) 酒井 宏司 (外科) 渡邊 隆之 (外科)
整 形 外 科	— 南澤 育雄 木下 久敏 ○向山啓二郎 ○松田 智	松田 智 竹山 和昭 向山啓二郎 ○信大医師 ○南澤 育雄	— 向山啓二郎 木下 久敏 和昭 育雄	松田 智 竹山 和昭 — ○木下 久敏	— 南澤 育雄 — ○信大医師 ○竹山 和昭	○印は初診担当です	南澤 育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節) 木下 久敏 (脊椎・脊髄) 松田 智 (上肢・末梢神経) 竹山 和昭 (脊椎・関節疾患) 向山啓二郎 (整形外科一般)
形 成 外 科	○滝 建志 三島 吉登	○信大医師 三島 吉登	○滝 建志 三島 吉登	○三島 吉登 滝 建志	○滝 建志 三島 吉登	○印は初診担当です	
脳神経外科	○竹前 紀樹 徳重 一雄	竹前 紀樹 ○市川 陽三	○竹前 紀樹 —	竹前 紀樹 ○徳重 一雄	○市川 陽三 —	○印は初診担当です 水曜頭痛外来(初診)	竹前 紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重 一雄 (脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 市川 陽三 (脳神経外科一般)
皮 膚 科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實		
泌 尿 器 科	岡根谷利一 △西澤 秀治	西澤 秀治 皆川 倫範	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 信大医師	岡根谷利一 皆川 倫範	△印の診察は午前10 時30分からです。	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤 秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 皆川 倫範 (尿路結石・前立腺肥大)
婦 人 科 午後 専門外来 (予約制)	森 篤 ○西澤千津恵	○信大医師 —	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	○印は初診担当です	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科一般)
眼 科	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —	風間 淳 信大医師	風間 淳 —		風間 淳 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	—	野村 康	野村 康		
放 射 線 科	—	橋田 巖	—	橋田 巖	橋田 巖		橋田 巖 (放射線治療) 今井 易 (画像診断)
歯 科・ 歯科口腔外科	宮原 貴彦 田村 稔	田村 稔 宮原 貴彦	宮原 貴彦 田村 稔	信大医師 信大医師	田村 稔 宮原 貴彦	初診・午後外来手術 再診	田村 稔 (口腔腫瘍) 宮原 貴彦 (口腔外科一般)

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

本紙のバックナンバーは、ホーム
ページでもご覧いただけます。

■発行人：長田敦夫
■編集：長野市民病院
広報誌編集委員会

・市職員
増山 幸一 (長野市総務部長)
板東 正樹 (長野市財政部長)
宮尾 和榮 (長野市保健福祉部長)

・吉澤 直亮 (株式会社八十二銀行常務取締役)

宮島 竹子 (長野市ボランティア連絡協議会幹事)

久保 シズエ (長野市保健補導員会連合会副会長)

松田 喜世辰 (古里地区区長会長)

齊藤 忠二 (長野市区長会会長)

・学識経験者
推薦団体の人事異動に伴う新評議員も理
事で次の方が決まりました。

理事 戸井田 易 (長野市民病院事務部長)

*副理事長 酒井 登 (長野市助役)

が、次のとおり決まりました。
市職員の変更により、公社新役員の変更

公社新役員決まる